

『青年よ! 大志を抱け!!』 ..... Zoom Up!!

昨年暮れに母校・高知中央高校にて生徒数、約60人の特別授業を行いました。少年時代の生い立ちや目まぐるしく変化する社会の中、政治の果たすべき役割とあり方についての講義。真剣な眼差しで聞いて頂き意義ある講義となりました。好奇心も旺盛で多くの質問も頂きました。

○高野光二郎は特色ある学校づくりや教育を応援するため意欲的に教育現場に赴きます。いつでもお声をお掛け下さい。

母校の中央高校にて後輩たちを前に特別講義をする風景  
(2003・12)

情報もりだくさん

ホームページではコラム「選択」や活動報告など随時報告します。



選択 selection!!

コラム

誰もがそれぞれの立場や場面で「選択」を迫られる。選挙のときには、信念と誘惑。信条と妥協。初心に返り、冷静さを保ち選択をし、実行してきた。議員という仕事は選択の連続である。ただ大事なことは、選択の基準を人間関係だけで判断するのではなく、自分の身の回りや支援者のことばかりでない。目的は県民に何が有益かと言うことである。この場面に議員の説明義務が生じる。物事に関しては、可能な限り現場検証し、選択の基準に「前例や固定観念」は必要がないと心に決めている。

県議会議員選挙から会派入り

平成13年12月27日に9年ぶりに高知に帰省し、最初にぶち当たった選択が、自民党公認か推薦か、あるいは無所属で戦うか、という選択である。自分自身はそれまで自民党神奈川県連の役員もした。代議士の秘書として他県のあらゆる選挙での候補者の応援を行ったが、自民党以外ではやったことが無い。高知に帰り高知の様々な方の意見を聴いた。そして、無所属で挑戦することを決意した。

- 理由は、
- しがらみをつけず、固定観念や先入観に捕らわれない活動を心がけたい。
  - 頭の中を空白にして、高知に関わるあらゆる事をゼロから吸収したかった。
  - 既存の高知県自民党との関係がうすく、そして活動内容を把握してなかった。
  - 前々から地方政治に政党政治が必ずしも必要か疑問があった。
- が主な理由である。

知事選挙

知事の選挙資金についての疑惑が出て、それから後に、現職高知市長が出馬を決めた。まさに私にとっても激震が走った。一県民としてそして議員として、高知県の長を決める大事な選挙。どちらを応援するか迷った。どちらを応援するにも中途半端な事をしたくはなかった。高知市長は、多忙の中、無所属新人の私のために幾度となく選挙の応援に駆けつけてくださった。その人間性は私も尊敬する人物である。一方、現職知事は、私が県議になる以前から、その県政改革を高く評価

そして、昨年の4月30日に県議として初登壇した。職員の方に議員バッジをつけてもらった。その時「うれしい」という感情はなかった。むしろ強い責任感とやる気度「高揚」した。県議会議員として最初の選択は会派選びである。当選する前から誘いの話は頂いた。しかし、答えは避けていた。選択肢は、自民党会派、無所属新会派、そして一人会派の3つだった。そして無所属新会派「21県政会」を結成し、副幹事長に就いた。この選択に関しては正直迷った。ある意味これからの政治活動を左右するからである。新会派結成に参加した理由は、

- 基本指針は決まっているが、議員活動としての拘束が無かった。
  - 執行部の長である知事との関係の基本が、是々非々だった。
  - 議会に関して新鮮さが必要であり、これから県民の為の議会スタイルを創ることができると思った。
  - 議員政策条例を提案できる母体が必要であった。
- が主な理由である。

していた。そして県議になってもからも政治スタイルやビジョン、実行力に共感した。私を応援してくれる支援者もどちらを応援するか分かれていた。この際、義理や人間関係を中心に選択することをやめて、市長派、知事派のそれぞれの方に意見を聞き、そしてどちらが高知県のためによいかを考えた。その結果、私は現職知事支援を決めた。現職知事支援を貫いた自民党所属3県議は、自民党除名。新会派を結成。我々、21県政会の自民党籍所有議員は、私を含め5名が離党した。

議員は、議案や、政策など政治活動の様々な場面で選択を迫られる。その時に、信念が問われる。選択の中では人間的な義理も大事だ。しかし、高知県議会議員としての選択には県民の利益を最優先したい。そのために、私は県民をはじめより多くの方々の意見を聴きたい。そして、私はこれからもさらに新たな選択肢を探し続け、選択を楽しむ。

「先生……」?

「高野先生」「先生」と4月から呼ばれる事がよくあり、気持ちが良くありません。「呼ばないで下さい。」とお願いしています。私は先生ではありません。「光二郎君、光二郎さん、高野県議、高野君、高野さん」と呼んでください。政治の仕事は私が選びました。県議に私を皆さんが選んでくれました。日常活動で「媚びない、威張らない」、政治は、社会の役割分担での一つのアイテムです。



「県政の両輪……」?

知事と県議会の関係を、車の両輪に例えることがあります。進むのも、下がるのも同じ方向では意味がありません。知事が良い立案、施策を行えば知事にアクセルを踏ませ、議会がブレーキを緩める。県民のために良くないと判断すれば、ブレーキを踏んで止める。反対に議会もどんどんアクセルを踏む。

つまり、「県政の両輪」ではなく、「県政のアクセルとブレーキ」が望ましいと思います。



高野光二郎事務所

○ホームページ○  
平成16年3月中旬 始動!!  
是非ご覧ください!

<http://www.kohjiro.net>

TEL 088-878-8370 FAX 088-878-8371

E-mail kohjiro@i-kochi.or.jp 〒780-0056 高知市北本町2丁目6-5 ハイツ寿

事務所  
MAP